

8/13 みんなが主役の夏祭り

恒例の夏祭り、今年はステージプログラムを拡充して開催



動画
de
広報

「第11回やっちゃん祭」(同実行委員会主催)が高郷河川敷多目的広場で開催され、町内外からの多くの来場者でにぎわいました。

会場には多くの露店が軒を連ね、バザーも開催されました。また特設ステージでは、町内出身のアーティスト「かせきさいだあ」さんのライブや、商工会の会員らによる鹿ん舞を現代風にアレンジした「ディーアダンス」などが観客を楽しませました。プログラムの最後には手筒花火の豪快な火柱と赤石太鼓の勇壮な響きの共演が披露され、来場者から大きな歓声があがりました。



①地元凱旋のかせきさいだあさん(中央) ②ディーアダンス

大学生と一緒に考える、町のこれから 8/7

町議会が静岡大学の学生と合同研修会を実施

町議会は、若い感性や思考を知ることで議会の活性化につなげようと、役場本庁にて静岡大学の学生との合同研修会を実施しました。

参加したのは、人文社会科学部長の日詰一幸教授のゼミに所属する学生11人で、4月から「ICTとまちづくり」をテーマに事前学習や町内での現地調査に取り組んできました。研修会では、学生による議員および町職員への調査結果の報告のほか、議員と学生との意見交換会が行われ、学生からは「他地域との差別化」や「世代間の交流」などの政策提言が発表されました。



教育・経済活性化・高齢者医療の分野ごとにICTの活用法を提案

8/1 救助技術の向上を目指して

水難事故に関する知識と技術向上、連携確認を目的に実施

水難事故が多発する行楽期を迎え、島田消防署川根北出張所は、塩郷えん堤付近の大井川で水難救助訓練を実施しました。

訓練は4日間で延べ18人が参加し、救命ボート操船や救助用ロープの投下手順などを確認したほか、圧縮空気を使用してロープを発射する「救助索発射装置」の操作技術の向上に取り組みました。鈴木美佐男所長は「水辺では絶対に子どもから目を離さず、油断や思い込みにも注意してほしい。また危険な行為を見かけたら、すぐに出張所まで知らせてもらえたら」と話しました。



◀「救助索発射装置」を使用して要救助者へロープを届ける



安心させるように声を掛けながらボートに引き揚げた

7/12 身につけよう「防犯テクニック」

中央小学校で体験型防犯講座を初開催



後ろから抱きつかれた時のかわし方を練習する児童ら

中央小学校3・4年生とひまわり学級の21人は、同小体育館にて、不審者への対応を学ぶ体験型防犯講座「あぶトレ!」を受講しました。

この講座は、犯罪に遭わないための知識や自分の身を守る方法を実際に体験するもので、NPO法人県防犯アドバイザー協会の島元正彦さんが講師を務めました。児童らは島元さんの指導で「大声を出す練習」や「走って逃げる練習」などに取り組みました。講座終了後、瀧澤来海さん(4年)は「いざという時は、今日体験したことを生かせるようにしたい」と話しました。

孤立集落に空からの救助 7/21

島田警察署が孤立集落の救助訓練を実施

島田警察署は、県警航空隊および島田消防署北出張所と連携して、地震で孤立した集落から住民を救助する訓練を、高郷河川敷(高郷区)にて実施しました。

訓練には、関係者26人が参加し、孤立集落に見立てた大井川の中州から、住民役2人を県警ヘリで吊り上げて救助しました。

島田警察署警備課の清水泰明課長は「円滑な救助に向けて連携が確認できた。町の皆さんも、集落孤立に備えて、救助されるまでの間の備蓄や避難場所の確認をしてほしい」と話しました。



県警ヘリは住民役の2人を吊り上げてグラウンドに着陸した

8/12 「ただいま」「おかえり」の盆踊り

「千頭駅前ミニ盆踊り」和気あいあいとしたひととき



小雨の降るあいにくの天気ながら、盆踊りを楽しむ来場者

「千頭駅前ミニ盆踊り」(本川根青年団主催)が同駅前広場にて開催されました。

盆踊りの曲が始まると、里帰り中の家族連れや地元住民などが踊りの輪に次々と加わり、広場にはにぎやかな声が響きました。また青年団員や地元住民が中心となって露店を出店し、花を添えました。同青年団の風間光一郎団長(寺馬区)は「3連休の真ん中ということもあり、昨年よりも多くの皆さんに参加していただき、とてもうれしく思う。これからも、青年団として地域を盛り上げていきたい」と笑顔で話しました。